

9月12日、13日には洗足祭が行われました。両日とも晴天のもと、多くのお客様にご来場いただき、大変な盛り上がりを見せました。今回は、初めて洗足祭を体験した中学1年生の行事ノートから感想文を抜粋します。

洗足祭を終えて


私が洗足祭で主にしたことは、科学部の活動と家庭科の学習発表です。どちらも本番の日までに様々な努力と準備を重ねてきたものでした。科学部の活動は、去年に体験したことがあったので、どのようなものなのかは大体知っていました。また、お客さんに作り方を説明するだけなのでそれほど苦労するものではないと思っていました。しかし、洗足祭が始まると、この作業がどれほど大変なのかを実感しました。お客さんは予想以上に来て、同時に4人に作り方を教えなければなりません。それに、4人のお客さんはそれぞれ違う時間に作り始めるため、誰がどこまでできているのかを把握しなければいけません。また、途中で水をこぼしたり、作品が上手く出来なかったりなどハプニングが起きてしまいました。しかし、その時に同輩や先輩に協力してもらったり助けってもらったりし、何とか乗り切ることができました。また、お客さんが最後に「ありがとう」と言ってくれた時にはとてもやりがいを感じました。

中学1年生は、学年を9つの教科の班に分け、これまでに学習してきた授業内容を発展させた形で披露しました。私は家庭科の班長として、話し合いや準備をまとめていかなければいけません。しかし、なかなか皆の意見をまとめたり何をやるべきか決めたりすることはできませんでした。その時には、友達が「次はこれをするべきじゃない？」などとアドバイスしてくれたり、一緒に話し合ってくれたりと助けてくれました。当日までに完成できるのか心配な時期もありましたが、無事完成し、たくさんのお客さんが見に来てくれました。

また、HR計画委員は昼休みや放課後を利用して洗足祭の説明を聞いたり公演の内容をどうするか話し合ったりしました。自分たちが決めた公演の内容が実際に劇となってお客さんが見るということで自分が

少しでもお客さんが楽しむことに役立つことが出来たことを感じ、嬉しく思いました。

中一での初めての洗足祭は、たくさんの人に助けってもらい、無事終わることができました。洗足祭を通して、一人で全てをやり遂げることは難しく、力を合わせることでできることがある、ということを知りました。HR研修や洗足祭で深く胸に刻んだ協力の大切さを忘れずに、これからの学園生活を送りたいです。




私は洗足祭でとても頑張ったことがあります。それは部活の公演です。私は吹奏楽部として、前田ホールで演奏しました。

演奏したのは、中1がはじめて演奏する曲でした。だから練習にはとても熱が入りました。私のパートはパーカッションなので、色々な楽器を担当しました。シンバル・ピラフォン・タンバリンです。

先輩方は、夏はマーチングコンテストのために忙しそうにしていました。それが終わってから、一生懸命中1に教えてくれました。私は先輩方の努力を無駄にしないように、腕が筋肉痛になるくらい練習しました。

そして本番、緊張しているなか、先輩方は応援の言葉をかけてくださいました。そのおかげか、ステージに立った瞬間、なぜかほっとしました。シンバルをうまく乗り越え、タンバリンとピラフォンも乗り越えられました。涙が出そうになりました。頑張ってた良かったと思いました。

また、国語班の一員としても頑張りました。お客さんが来たら、「よかったら、クイズやりますか」「か

るたやってみます？」など積極的に声かけができました。自分たちがこの短期間で一生懸命準備してきたので、より丁寧に接客できたと思います。思った以上にお客さんが来てくださったので嬉しいです。

この文化祭は、先輩やお客さんとの交流ができてとても良い機会だったので、これを忘れないようにしたいと思いました。来年も頑張りたいです！！

